

2019(令和元)年度上半期(4-9月)の活動



毎月第4月曜日に例会/理事会を開催し、
NPO活動の報告と方針が活発に議論される(写真は4月22日第27回理事会)

令和元年年表

- 3月23日 九州町並みゼミに参加
- 4月22日 第28回例会/理事会
- 4月28日 サンカクドライブ(三角まち案内)
- 5月27日 第29回例会/理事会
- 5月18日 年次総会 2019+シンポジウム
in 旧住友銀行熊本支店社屋
- 5月25日 HC財団交流会in金沢に参加
- 6月24日 第30回例会/理事会
- 7月22日 第31回例会/理事会
- 7月27日 山鹿建築士会視察対応
- 8月26日 第32回例会/理事会
- 8月 1日 シリア文化財関係者視察対応
- 8月11日 復興イベント on the 明八橋
- 9月23日 第33回例会/理事会
- 9月 7日 全国まちづくり会議 in 東京パネル出展
- 9月10日 富士川事務局長荒木精之賞授賞式

熊本まちなみトラストでは、会員募集とともに事務局やイベント時のボランティアを募集しています。詳しくは下記までお電話、FAX、メールでお問い合わせください。



NPO法人熊本まちなみトラスト

〒860-0078熊本市中央区京町1-8-24 株式会社人間都市研究所 内

TEL096-326-6611 / FAX096-326-6612

E-mail: info@kumamoto-machinami-trust.org

HP: kumamoto-machinami-trust.org

Facebook: @kumamoto.trust Twitter: @km_trust

まちなみトラスト

— まちの記憶をつなぎ希望を育む —



Vol.
01
2019

熊本まちなみトラストは、1986年から城下町の研究や建造物保存などに取組んだ「古町研究会」の活動を経て、旧第一銀行熊本支店社屋(大正8年建造)の保存の成功を契機として1997年に設立されました。2016年4月の熊本地震は建築文化財に大きな被害を与え、熊本まちなみトラストはNPO法人化するとともに、この未曾有の震災により被災した建築文化財の復興と保存に尽力しています。

- 2019年会員総会+シンポジウム開催 ……P2
- ワールド・モニュメント財団の支援 ……P4
- 復興イベント 明八橋で子ども夕市 ……P6
- 九州町並みゼミへの参加 ……P7
- 私の「記憶の継承」(青木勝士さん) ……P8
- 会員近況(斉田英子さん) ……P9
- 2018(平成30)年度活動計算書 ……P10
- 2019(令和元)年度役員名簿 ……P11
- 2019(令和元)年度上半期の活動 ……P12

2019年 年次総会が開催されました

2019(令和元)年5月18日13:30~14:30

会場は、昨年末(株)カーリーノが買取られた旧住友銀行熊本支店社屋



● 2018年度事業報告と決算報告(第1号議案)(P10参照)

収支の大半がWMF(ワールド・モニュメント財団)からの収入と支援金の支出であり震災復旧という特別の決算となりました。

● 2019年度事業計画と予算(第2号議案)

復旧から復興への過渡期となる年度の予算編成です。未確定の補助金収入を含む経済的には不安定な運営見通しになりました。

● 定款変更に関する議決(第3号議案)

NPO法の改正に伴い、決算の広告をHP(ホームページ)で行うことにしました(定款53条)。また、会費の一部改正をしました(附則)。

● 運営基盤の強化に関する議決(第4号議案)

財政基盤を安定させるために、法人会員の増強と委託業務受託の道を開くことを決議しました。

● 議事終了後、部会報告もおこなわれました。

総会の後にはシンポジウムが開催されました

同会場で15:00~16:30

歴史を活かしたまちづくり-旧住友銀行支店社屋の復活劇-

- | | | |
|--------|------------------------------|-----------------------------|
| 1 基調講演 | 旧住友銀行熊本支店の建築的価値 | 伊藤重剛(熊本大学名誉教授) |
| 2 事例発表 | 大分銀行赤レンガ館の場合
旧第一銀行熊本支店の場合 | 三代吉彦(大分銀行)
平山武久((株)PS社長) |
| 3 | 買取られた所有者の思い | 馬場英治((株)カーリーノ社長) |
| 4 | 意見交換コーディネーター | 竹田宏司(KMT副理事長) |
| 5 | まとめ | |

主催 NPO法人熊本まちなみトラスト(略称KMT)
後援 五福校区自治協議会/一新校区自治協議会
くまもと新町古町復興プロジェクト
日本建築学会九州支部歴史意匠委員会
被災文化遺産所有者等連絡協議会
熊本市現代美術館

すぐ近くの先進事例であるPSオランジュリの平山社長と大分市で歴史的建造物の再生・活用に取組む大分銀行の三代さんから興味深い事例報告をいただきました。



平山社長から「復旧工事竣工後の復興イベントと一緒にやりましょう」というエールを馬場社長に



予想をはるかに超える80名の参加者を得て、活発な意見交換ができました



左から馬場社長、平山社長、三代さん、伊藤理事長
馬場社長抱負を語られる一幕



近くで居酒屋を営み「新町古町復興プロジェクト」代表の上村元三さんも熱い想いを語られた

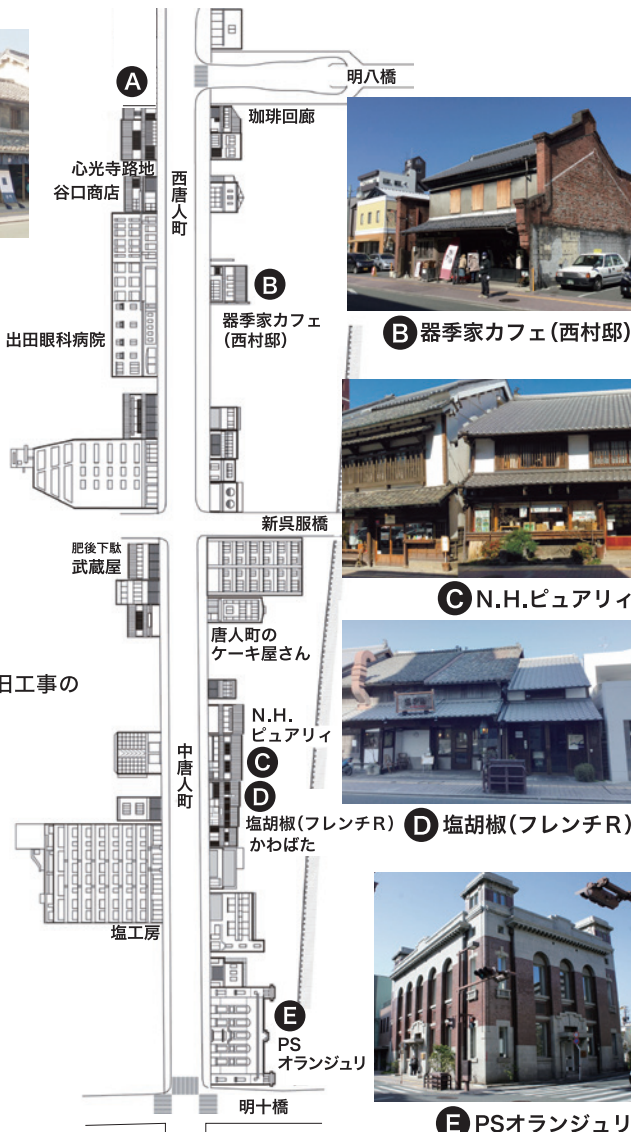
熊本まちなみトラストは、2017年7月に WMF(ワールド・モニュメント財団)とパートナーシップ契約を結び、中唐人町と西唐人町の歴史的建造物5軒の震災復旧工事の支援を行っています。この支援と清永本店の現場をご紹介します。

活動も2019年が最後となり、復旧工事が終盤となったPSオランジュリ

※ワールドモニュメント財団とは…1965年に設立されニューヨークに本部を置く非営利民間組織。国や文化の枠を超え、世界各地で政府などの公的組織及び民間のパートナーと協力し、世界120カ国以上の国々の歴史的建造物などの文化遺産を保護・保存する活動を行っている。ワールド・モニュメント財団ホームページ <https://www.wmf.org/>



A 清永本店



B 器季家カフェ (西村邸)



C N.H.ピュアリー



D 塩胡椒(フレンチR) かわばた



E PSオランジュリ

WMFは、A～Eの5軒の復旧工事の支援を行った (写真は地震前のものです)

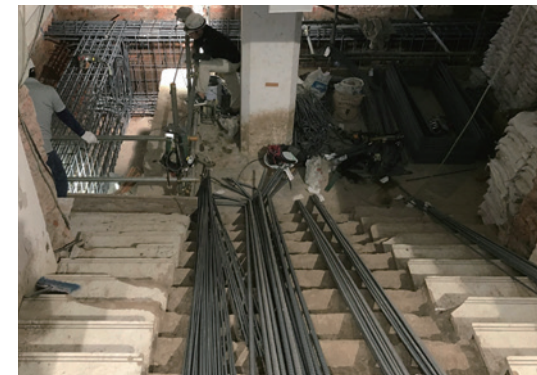


工事用足場に「続く100年の為に」という標語が掲げられた

PSオランジュリ

煉瓦造という特殊な構造(大正8年建造)のために復旧工事には日本イコモス国内委員会をはじめ多くの専門家の支援を必要とした。

2019-03-29 赤煉瓦の基礎に鉄筋コンクリートで補強工事



清永本店

清永本店は江戸期から続く大商家であり、間口6間奥行きはオモテの店から奥の仏間まで15間に及ぶ母屋と2つの蔵を持つ(母屋は明治11年建造)。熊本地震では全壊し復旧困難と思われたが、1年8ヶ月の検討を経て再生の道を選ばれた。



2019-04-02屋根工事



2019-07-02 心光寺路地壁面工事



熊本地震復興イベント

HC財団の助成を受けて実施しました

納涼カフェとこども夕市 on the 明八橋

2019(令和元)年8月11日(日) 17:00~19:30



坪井川上流から明八橋を望む



お盆前の猛暑の中、近隣の家族連れを中心に300人近くの参加者があった。一新校区と五福校区に合計3,250枚の新聞折込チラシを配布したが、両校区以外からも20~30人ほどの参加者があった。



子ども向けの遊び、大鯛どっこい、射的、ヨーヨー釣り、スーパーボール掬いを用意したので子どもたちは大はしゃぎでした。暗くなって花火も少し楽しみました。カフェでは大人たちもビール片手に話がはずんだ。復興イベントであり、近くの復旧工事現場の案内も予定していましたが、お知らせに手が回らなかったこともあり参加者8人と振るいませんでした。

九州町並みゼミ in 臼杵に参加しました

2019-03-23

全国町並み保存連盟九州沖縄ブロックの主催 今回が第6回
富士川、松波、菊池が参加しました



臼杵市観光交流プラザでのシンポジウム



二王座歴史の道 まち歩き

シリーズ 私の「記憶の継承」

私が2012年に熊本まちなみトラストの活動に参加して2019年で7年を迎えた。

小学生であった1981年頃から私は土蔵造りや商家造りの建物やそれが連なる街並みが大好きであった。1987年に大学入学のために横浜へ移動してからは、大内宿(福島県)、妻籠宿・海野宿(長野県)などの宿場町や篠山・出石(兵庫県)、白石(宮城県)、弘前(青森県)などの城下町を、バイト代をつぎ込み、旅して実見した。城下町や宿場町の名残を残す熊本や坂梨(阿蘇市)・小川(宇城市)と比較しては、屋根や壁の材質や意匠の違いを見て、各地固有の風土や歴史的背景を考えるきっかけになった。

その技術や風景に価値を見出す私は、それらを未来の子孫たちに伝える支援を文化財保護で実現するために学芸員を目指し、1994年に熊本に帰郷して公務員に就いた。そしてトラストに加入した。

しかし、その思想も伝えたい風景も一変したのが2016年の平成28年熊本地震だ。これを境に私は「記憶の継承」を強く意識した。地震で自宅も職場も屋内が崩壊した。城下町の名残を残した新町古町地区(熊本市)の町屋も軒並み破損または崩壊した。そして公費解体が進んだ。2017年までの1年間で西南戦争後の復興以来の140年間の風景が一変した。1889年の熊本地震と1945年の熊本空襲に耐えた建物群は、2000年代に進行した無住化と老朽化に耐えることはできなかった。耐えても所有者の高齢化と後継担い手の不足が解体を後押しした。これは田迎・川尻・沼山津(熊本市)、木山(益城町)でも同様であった。所有者の高齢化と古建築の耐用年数の超過は、全国的な課題でもあった。

被災後の6月～9月に古町の西村邸(熊本市景観重要建造物)に熊本まちなみトラストが設営した「新町古町復興プロジェクト現地事務所」に詰めては、所有者の方のご相談に与った。私の専門の古文書学を生かして動産の史料についてもご相談に与った。他方、熊本県立図書館の学芸員、熊本被災資料レスキューネットワークの一員としても被災後の史料保全のご相談に与った。

この経験を介して文化財保護とは唯物的に建物や古文書などの対象物を残すのではなくて、それらを残してきた所有者のお気持ちや立場に寄り添い、一緒に考え、専門家として助言し、所有者の求めに応じた提案をすることにあることに気づいた。所有者のご先祖様に敬意を持ち、所有者と共に記憶を継承し、伴走者の立場で所有者と共に考えた結果として、建物や史料が残るのではなかるうか。それが文化財保護ではないかと考える。さらに個々の記憶を集積し、アーカイブ化することで街の記憶となり、歴史は紡がれて継承されていくのではなかるうか。目指す文化財保護の形を「記憶の継承」というキーワードで強く意識したのが被災以後の私であり、機会を与えてくれたのがトラストであった。



青木勝士
(熊本まちなみトラスト理事)

熊本県・熊本県立大学地域連携政策センター
/ 日本中世史(古文書)

会員近況 東京生活4年目、パワフル5人家族、そして6人へ。 斉田(西)英子さん

2016年春、熊本地震の2週間前、11年間お世話になった熊本県立大学の務めを終え、東京に転居しました。私たち家族の東京生活は熊本地震の時間の流れとともにあります。

新宿から普通電車で20分ほどの我が家周辺は、緑多く、時に、富士山が遠景に見えもします。周辺にいくつもある街区公園には、子どもたちの元気な声があふれ、週末には乳幼児を遊ばせるお父さんの姿をたくさん見かけます。最寄りの駅を核に、東西南北の通り沿いに商店街が広がり、肉屋、魚屋、八百屋、靴屋、スポーツ用品店、文房具店、花屋、米屋、お茶屋等々の個人商店が並んでいます。我が家は、マイカーを手放したので近隣生活はすべてを徒歩と自転車。これぞまさに「コンパクトシティ」を体感しています。

忙しいフルタイム職から自由に時間を使える立場となり、小学校のPTAの委員や地域行事に積極的に参加すると、仕事と家の往復では知り合えなかった方々と出会い、私の小さな世界が広がりました。仕事のアンテナは、意識して他分野、他業種の方々と議論を重ねてきました。これまでの経験や専門性を軸にしながらも自由に活動しようと決めてから、10年前からの夫の計画でもあった会社を設立し、私は自分の専門性から参画しています(株式会社ヒンメル・コンサルティング<https://www.tenki-saita.com/>)。2019年春からは、中央大学法学部で都市政策の授業で教壇に戻り、新しい現場での活動が始まりました。

大学を退職することはもちろん、3人の子どもを産むなど私の人生のシナリオにはまったくなかったのですが、2018年4月、私は44歳で3人目の男児を出産しました。三男坊は私たち家族にたくさんの愛を運んでくれました。気力体力勝負の日々ですが、何気ない日常が一番の幸せです。

5人家族には手狭になった賃貸マンション暮らしていましたが、この愛着ある同じ界隈に、素敵なオーナーさんとの出会いがあり、築25年の中古戸建を購入、多少のリノベーションをし、6月に転居しました。住宅を見て回っていた数か月は、東京の(日本の)深刻な住事情を痛感すると同時に、「家族とは」と深く考えるきっかけになりました。そして、我が家は、11月から6人家族になります!長崎市で独居の母(78歳)が同居のため転居してきます。いくつかのガン細胞と共生しつつも、向上心、好奇心あふれる母は東京生活がとても楽しみのようです。兄家族や母の実妹家族も関東圏にいたので、皆で支え合う、迷惑をかけ合う生活体験(笑)。そう遠くない未来には、育児と介護のダブルケアが待っているかもしれませんが、何事も経験、すべてを人生のネタに楽しみたいと思っています。



近所の児童館で秋祭り開催

法人名: NPO法人 熊本まちなみトラスト

第2期(平成30年度)活動計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
正会員受取会費	205,000	215,000
賛助会員受取会費	10,000	
2.受取寄付金	45,000	45,000
受取寄付金		
3.受取助成金等	28,325,046	28,325,046
受取民間助成金 ※1		
4.事業収益		
A事業収益(被災2周年イベント)	0	
B事業収益(被連協支援)	1,524,710	
C事業収益(新町古町・歴史的建造物)	0	
D事業収益(記録の作成)	0	1,528,710
E事業収益(三角地区)	4,000	
5.その他収益	27	27
受取利息		
経常収益計		30,113,783
II 経常費用		
1.事業費		
(1)人件費		
給料手当	0	
臨時雇い賃金	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
印刷製本費	7,048	
修繕費	0	
旅費交通費	43,533	
消耗品費	1,101	
通信運搬費	46,475	
雑費	4,933	
支払手数料	6,966	
研修費	45,000	
修復支援金(WMF)	26,491,140	
外注費	102,600	
機材費	219,024	
水道光熱費	0	
地代家賃	0	
会議費	0	
修復支援金(寄付金)	1,444,710	
その他経費計	28,412,530	
事業費計		28,412,530
2.管理費		
(1)人件費		
給料手当	601,500	
役員報酬	500	
法定福利費	0	
人件費計	601,500	
(2)その他経費		
旅費交通費	103,807	
通信運搬費	18,075	
印刷製本費	50,100	
消耗品費	12,110	
機材費	225,504	
研修費	1,000	
地代家賃	600,000	
外注費	0	
会議費	0	
雑費	52,612	
諸会費	10,000	
租税公課	1,250	
支払手数料	5,776	
その他経費計	1,080,234	
管理費計		1,681,734
経常費用計		30,094,264
当期正味財産増減額		19,519
前期繰越正味財産額		400,292
次期繰越正味財産額		419,811

NPO法人熊本まちなみトラスト役員名簿

2019-08-19現在

役職名	氏名	プロフィール
理事	青木 勝士 <small>あおき かつし</small>	県庁・熊本県立大学地域連携政策センター/日本中世史(古文書)/被災史料レスキューネットワーク参画
理事	麻生田 栄壽 <small>あそうだ よしひさ</small>	不動産鑑定士/熊本県鑑定士協会会長時代には協会の公益社団法人化に尽力/趣味はバイク・車
理事長	伊藤 重剛 <small>いとう じゅうこう</small>	熊本大学名誉教授/専門は西洋建築史/地震後ワールド・モニュメント財団申請に尽力
理事	磯田 桂史 <small>いそだ けいじ</small>	熊本大学五高記念館客員教授/公務員退職後崇城大学に勤務し、熊本近代建築史に取り組み
理事	磯田 節子 <small>いそだ せつこ</small>	元熊本高等専門学校教授/専門は都市計画・建築計画/熊本初のコーポラティブ住宅に参画し住む
理事	岡 裕二 <small>おか ゆうじ</small>	筋ワークス主宰/専門は地理学/まちづくりコンサルタントとして各地の調査・計画に参画/川尻在住
理事	工藤 栄一郎 <small>くどう えいいちろう</small>	西南学院大学商学部教授/専門は会計学・会計史/新町古町で現代の町屋に暮す
理事	幸田 亮一 <small>こうだ りょういち</small>	熊本学園大学商学部教授/専門は経営史/現在同大学学長/共編著「熊本の近代化遺産」出版に尽力
理事	西郷 正浩 <small>さいこう まさひろ</small>	崇城大学工学部教授/専門は建築設計・計画/旧JR上熊本駅舎の保存に尽力
理事	柴田 祐 <small>しばた ゆう</small>	熊本県立大学環境共生学部教授/専門は農村計画・景観計画/熊本地震後益城町西原村等で活動
副理事長	竹田 宏司 <small>たけだ あつし</small>	専門は埋蔵文化財/現在玉名市勤務/熊本地震後新町古町復興プロジェクトに参画
理事	田中 尚人 <small>たなか なおと</small>	熊本大学熊本創生推進機構准教授/土木史・景観論/熊本地震後益城町・山都町等で活動
理事	鄭 一止 <small>ちん いちじ</small>	熊本県立大学准教授/専門は都市計画・まちづくり/新町古町のまち再生のための調査研究実施中
理事	辻 泰明 <small>つじ やすあき</small>	熊本大学で熊本地震総合調査に従事/水前寺や宇城市三角町で地域遺産を活かした地域活動に参画
理事	豊永 信博 <small>とよなが のぶひろ</small>	熊本市所役勤務時代は合併推進に尽力/地震後県内各地を調査・活動/中心市街地の復興にも尽力
理事	長野 聖二 <small>ながの せいじ</small>	建築家/アートボリス推進賞等受賞多数/事務所は河原町/地震後新町古町復興プロジェクトに参画
理事・事務局長	富士川 一裕 <small>ふじかわ かずひろ</small>	都市計画家/熊本人間都市研究所代表/まちなみトラスト事務局長/新町古町復興プロジェクト副代表
理事	藤本 秀子 <small>ふじもと ひでこ</small>	熊本大学五高記念館勤務/まちなみトラストの前身古町研究会事務局/草月流の華道歴も長い
理事・広報部長	松波 大仁 <small>まつなみ たいじん</small>	現役時代は企業の経営企画・営業部門で海外担当/英国駐在経験有/業務システム設計・改革を経験
理事	宮野 桂輔 <small>みやの けいすけ</small>	高木富士川計画事務所勤務/小沢町の事務所と住まいが激しく被災/新町古町復興プロジェクトに参画
理事	宮本 茂史 <small>みやもと しげひと</small>	新町の建設会社勤務/新町古町・町屋研究会会長/地震後新町古町の町屋の復旧に尽力
理事	矢野 和之 <small>やの かずゆき</small>	日本イコモス国内委員会事務局/地震後調査団を組織し県内各地を調査しすばやくアピール文を公表
理事	山田 穰 <small>やまだ みのる</small>	元東海大学准教授/専門は都市計画・造形デザイン/昨夏の復興事務所運営に尽力
理事	吉野 徹朗 <small>よしの てつろう</small>	カメラマン、ライター、web制作/炊き出しスタッフと新町古町復興プロジェクトを立ち上げ現在事務局長
監事	齊藤 修 <small>さいとう おさむ</small>	弁護士/事務所は草葉町/任意団体設立当初から団体を支援
監事	荒木 幸介 <small>あらかき こうすけ</small>	公認会計士/事務所は新屋敷/任意団体設立当初から団体を支援